

## 第2期かがみの創生総合戦略 効果検証資料

資料1

### 1. 人口の現状

#### (1) 鏡野町人口ビジョンの推計値に対する実績値

国勢調査ベース	H27	～	R2	～	R7
人口ビジョン推計値	—		12,137		11,443
<b>国勢調査結果</b>	<b>12,847</b>	(5年に1度調査)	<b>12,062</b>	(5年に1度調査)	—

(参考) 住民基本台帳人口ベース	H27	～	R2	R3	R4	R5
各年1月1日現在人口	<b>13,773</b>	～	<b>12,859</b>	<b>12,739</b>	<b>12,610</b>	<b>12,468</b>

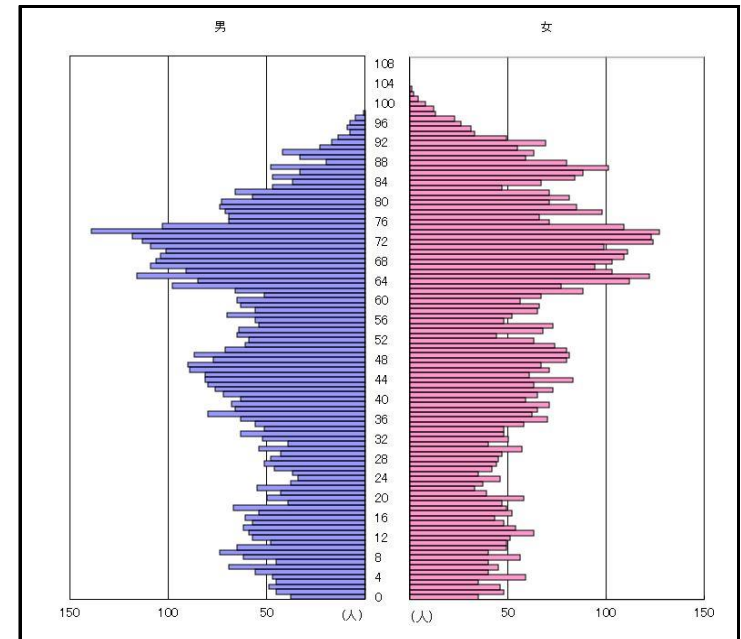
鏡野町の人口は減少傾向であり、令和2(2020)年国勢調査の結果では、「鏡野町人口ビジョン」(平成27(2015)年策定)の推計値より低い水準となっている。国勢調査の人口と住民基本台帳の人口はかい離があるが、減少率はほぼ同じである。

#### (2) 令和5年1月1日現在の鏡野町人口構成

R5.1.1人口構成	男	女	合計	(構成比)
0～14歳	820	712	1,532	12.3%
15～64歳	3,135	3,032	6,167	49.5%
65歳以上	2,084	2,685	4,769	38.2%
(再掲) 75歳以上	975	1,567	2,542	20.4%

出典：住民基本台帳データ

高齢化率(65歳以上人口)は38.2%(R4:37.5%)であり、右の人口ピラミッドからも65歳-74歳の比率が高くなっていることがわかる。5歳刻みで集計すると、70-74歳が最も多く、次点で65-69歳が多くなっている。

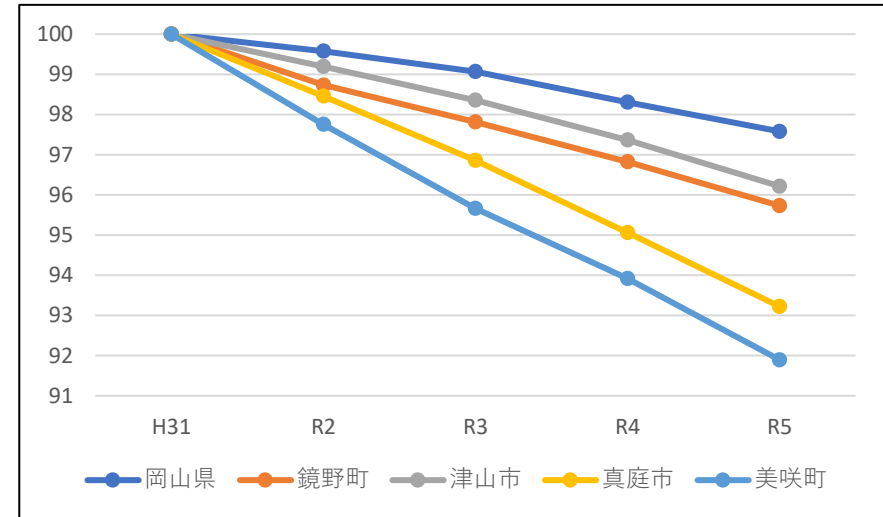


### (3) 周辺市町村の人口増減率（1月1日時点・前年比）の状況

	R2	R3	R4	R5
岡山県平均	-0.42	-0.51	-0.77	-0.73
鏡野町	-1.27	-0.93	-1.01	-1.13
津山市	-0.81	-0.84	-1.01	-1.18
真庭市	-1.54	-1.63	-1.86	-1.93
美咲町	-2.24	-2.14	-1.82	-2.15

出典：総務省公表「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」

※グラフはH31(R1)=100として各年の増減率を考慮した計算結果を反映

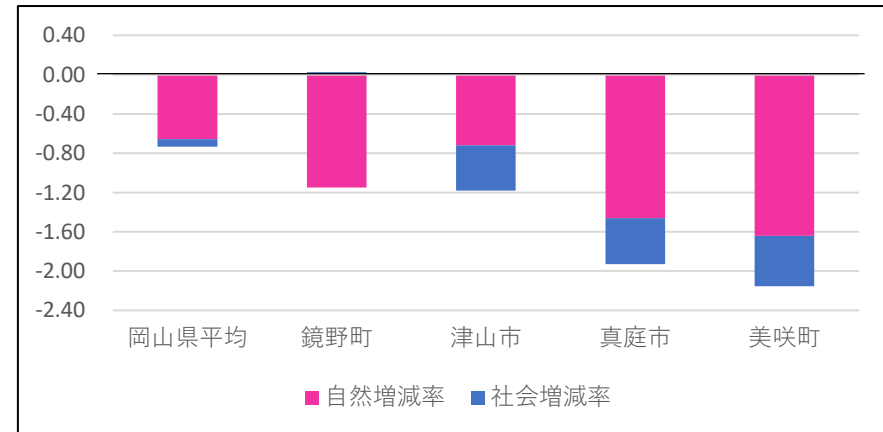


平成31年からの人口増減率を見ると、岡山県平均を含め、比較したいずれの市町においても人口減となっている。減少率の大きさを見ると、鏡野町は県平均及び津山市より大きく、真庭市と美咲町より小さい結果となっている。

### (4) 周辺市町村の令和4年中の自然増減率と社会増減率

	自然増減率	社会増減率
岡山県平均	-0.66	-0.08
鏡野町	-1.15	0.02
津山市	-0.72	-0.46
真庭市	-1.46	-0.47
美咲町	-1.64	-0.51

出典：総務省公表資料「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」



令和4年中の自然増減率と社会増減率を見ると、自然増減率については、岡山県平均を含め、比較したいずれの市町においてもマイナスとなっている。社会増減率については、鏡野町のみ僅かにプラスとなっている。

## 2. 各目標の評価と今後の方針

### ■達成度（進捗度）の判断基準

達成度（進捗度）の比率の算出方法	判断基準	
<b>達成度</b> ：目標値の設定が単年度ごとの場合（例：年間〇件） ⇒ <b>【実績値÷目標値】</b> <b>進捗度</b> ：目標値の設定が計画期間を通しての場合（例：5年で〇件） ⇒ <b>【実績値累計÷（目標値÷5×2）】</b>  ※国勢調査により5年に1度の把握となる指標については「-」とする。	◎	目標値を大幅に超えて達成できた（120%超）
	○	達成できた（100%～120%未満）
	△	達成できなかった（100%未満）

### ■達成度総括表

【基本目標1】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	15歳以上就業者数（国勢調査）	-			6	3	2
【基本目標2】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	合計特殊出生率	△			3	0	1
【基本目標3】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	交流人口	◎			3	0	0
【基本目標4】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	住み続けたい割合	△			3	1	1

## 【基本目標1】

### 安定した雇用を創出する

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	—	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
15歳以上就業者数（国勢調査）	6,289人 (2015年)	5,576人 (2025年)	5,890 (2020年)	—				—

#### 基本目標1 取組と効果検証

基本目標として掲げる「15歳以上就業者数」については、令和2（2020）年国勢調査の結果によると、5,890人であった。（調査は5年に1度）

「6次産業化の取組事例数」は1件取り組み、目標値を達成した。内容としては、やま弁の新パッケージとPR資料の制作を行った。やま弁は、ジビエやひらめなどの地元食材を使用しており、町内外から特産品として認知されている。

「新規創業・起業件数」は9件であり、目標値である5年計20件に向けて高い進捗率である。幅広い補助対象と手厚い支援であるため、利用者が増加している。

「エコツーリズムルート開拓件数」については、アフターコロナの観光需要に備えて3件のルートを開拓し、目標値を達成した。また、アウトドアブームやイベントの再開により、「観光入込客数」も徐々に回復してきた結果、目標値を達成した。

「新規就農者数」については、新規就農奨励金による手厚いサポートに魅力を感じて本町で新規就農を志す方が増加し、目標値に対して高い進捗率で推移している。ただ、集落営農組織については、高齢化が進み、解散の相談も出てきている。減少を防ぐため、新規組織設立に向けた相談を受ける体制を引き続き行う。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
6次産業化の取組事例数	—	計5件	1	1				○
新規創業・起業件数	—	計20件	9	9				◎
エコツーリズムルート開拓件数	—	計5件	2	3				◎
新規就農者数	—	計15人	3	5				◎
集落営農組織の設立	—	計1団体	0	0				△
観光入込客数	729千人	年900千人	790	947				○

## 【基本目標2】

### 子育て世代に選ばれる環境づくり

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	—	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
合計特殊出生率	2.04 (H28)	2.04	2.12	1.77				△

#### 基本目標2 取組と効果検証

基本目標として掲げる「合計特殊出生率」は、1.77であり、目標である令和7年度2.04を下回った。

「子育てしやすい町だと感じている町民の割合」は、令和3年度から低下した。これまで子ども医療費助成事業、育児用品助成事業など子育て施策全般が、近隣よりも高い水準にあり評価を受けてきたが、出産・子育て応援交付金事業の創設ほか、近隣でも子育て支援施策が充実してきており、鏡野町の独自性が見えにくくなってきている。令和7年度からの第3期子ども・子育て支援事業計画の策定などを通して、子育て世代のニーズを把握し、過不足のない必要な支援に取組むとともに、町の取組を積極的に発信していく必要がある。

「仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合」は、目標値を達成している。学童期については、放課後児童クラブで受入れができていたが、乳幼児期については、令和4年度から待機児童が発生している。子どもを安心して預けることができる体制を充実させることが必要である。

「年間の出生数」は、目標値を大きく下回った。コロナ禍の影響が大きな要因であると考えられる。出産予定月が令和5年4月以降となる妊娠届出数は、令和5年6月末時点（≒令和6年1月出産予定まで）で、65件。令和5年度の出生数は、妊婦の転入も考慮すると、80件程度となることが見込まれる。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
子育てしやすい町だと感じている町民の割合	89.8%	90%	90	84.8				△
仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合	80.7%	75%	71.3	75.9				○
年間の出生数	90人	90人	91	67				△

### 【基本目標3】

#### 新しい人の流れをつくる

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
交流人口	47,640人	毎年 3万人以上	54,896	63,906				◎

#### 基本目標3 取組と効果検証

基本目標として掲げる「交流人口」は、63,906人となり、目標値を大きく上回った。コロナの影響が少しずつ緩和され、訪れる方が増加した。

「移住者数」（移住相談会及び移住体験ツアーへの参加等により移住された方）は23人であり、目標値を達成できなかった。移住相談の件数は例年並みであったが、移住者のニーズを満たす物件が少なかったことが、減少の要因の一つとして考えられる。今後は、空き家等の掘り起こしによる物件の確保が必要である。

「文化・スポーツ合宿招致数」は7件であり、目標値を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、行動制限が緩和されたため件数は増加してきているが、まだ向上の余地がある。

「ふるさと納税の寄附者数」は903件であり、目標値を達成できなかった。返礼品の申込期限の設定や、寄付の受入方法・体制・運用の見直しが課題である。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
移住者数	14	年間30人	31	23				△
文化・スポーツ合宿招致数	4件	年間20件	3	7				△
ふるさと納税の寄附者数	1,121件	年間 1,000件以上	1,067	903				△

### 【基本目標4】

#### 住み続けたい魅力あるまちをつくる

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
住み続けたい割合	86.9%	88%	83.9	85.7				△

#### 基本目標4 取組と効果検証

基本目標として掲げる「住み続けたい割合」は、85.7%で目標達成に至らなかった。単身世帯など条件に合う住居の不足や、若者が職場の選択肢を広げるため転出を検討している可能性が考えられる。30歳代以上は概ね80%以上の方が住み続けたいと回答しているが、20歳代は60%で他の年代と比べて低くなっている。

「町営バス・乗り合いタクシー乗車人数」は、町人口の減少及び学生利用者の減少、また、コロナ禍による外出の控え、タクシー助成制度の開始による民間タクシー利用者の増加などにより、目標値を大きく下回った。今後は、より利便性の高いダイヤ等に改正するとともに、各種媒体を利用し公共交通網の周知を図る必要がある。

「要介護認定率」は、県平均より2.6ポイント低く、目標値を達成した。毎年見直しながら実施している総合事業が、介護予防に一定の寄与をしていると考える。

「省エネ機器導入促進補助金申請件数」は、80件で目標値を達成した。補助対象機器への関心が高い。申請では、高効率給湯器が大半を占めている。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
町営バス・乗り合いタクシー乗車人数	10,001人	14,000人	8,838	7,132				△
要介護認定率	2.5	県平均より 2%低い率	2.2	2.6				◎
省エネ機器導入促進補助金申請件数	96件	年間80件	83	80				○

#### 【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する

行政評価外部評価委員会のほか、町が行う各種委員会等において様々な職種の方に関わっていただき、施策を推進した。

#### 【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする

コロナ禍の影響によるデジタル化の機運の高まりを受け、行政手続きオンライン化を推進した。また、前年度に引き続きマイナンバーカードの取得促進を行い、デジタル化の基盤整備に取り組んだほか、デジタルデバインド対策（スマホ教室）を行った。